

第4回きずなリーダー会議

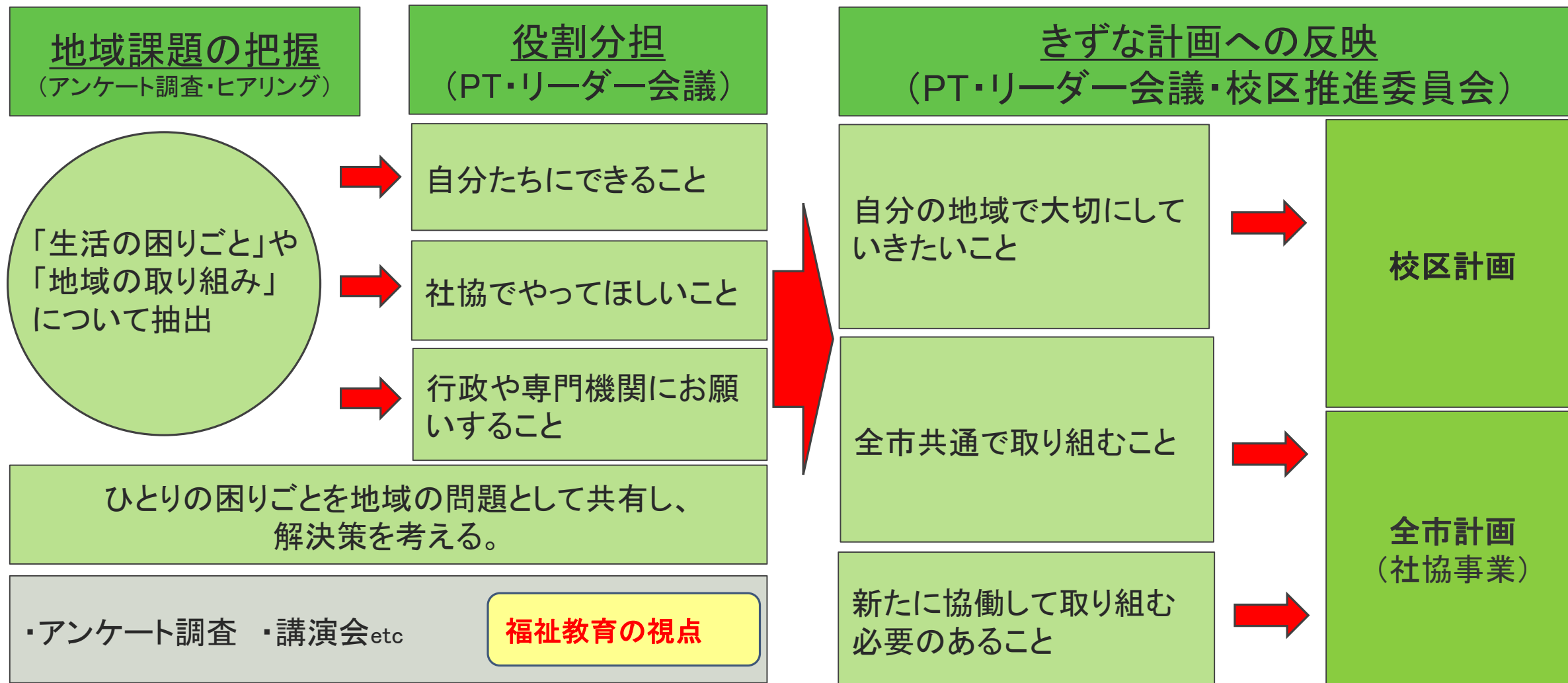
日 時：2022年 3月15日(火) 13:30～15:00

会 場：登別市民会館 中ホール

次第

- (1) 第4期きずな計画策定の経過について
- (2) 第4期きずな計画答申書(案)について
- (3) 今後のスケジュールについて

(1) 第4期きずな計画策定の経過について



策定方法の変更

No.	目的	第4期の取り組み	第3期の取り組み
1	きずな計画全体の策定	きずなリーダー会議 プロジェクトチーム(1種)	きずな推進委員会 きずなリーダー会議 プロジェクトチーム(4種)
2	校区きずな計画の策定	変更なし	校区きずな推進委員会
3	市民の意見の抽出	アンケート調査(活動者・事業所)	住民座談会 アンケート調査(活動者・事業所)
4	市民への啓発・研鑽の機会	計画策定記念講演会(収録) 計画策定研修会	きずなシンポジウム きずな市民大集会

○小人数の取り組みであっても、市民の主体性を担保(きずな計画は市民の活動計画)

○地域に暮らすひとりひとりに目を向けてもらうことを基本に、活動を「どうするのか」ではなく、「なぜ取り組むのか」に焦点をあてる。

プロジェクトチーム会議

第4期きずな計画策定に係る意見の取りまとめや協議を行う。



【委員構成】

田渕 純勝

(きずな推進委員長・
青葉小校区リーダー)

瀧川 正義

(富岸小校区リーダー)

中原 義勝

(鷺別小校区リーダー)

田中 秀治

(専門委員会リーダー)

回数	日時	内容
1	2021年 6月30日(水) 17:00~18:30	・アンケート調査項目検討
2	2021年 7月16日(金) 17:00~18:30	・アンケート調査項目確定 ・計画策定記念講演会視聴
3	2021年10月 7日(木) 17:00~18:30	・アンケート調査結果(暫定)確認 ・第4期方針協議
4	2021年12月 8日(水) 15:00~17:00	・アンケート調査結果(確定)確認 ・全市きずな計画協議
5	2022年 3月10日(木) 16:00~17:30	・答申書(案)協議

きずなリーダー会議

全体でのきずな推進委員会開催が難しいことが想定されたため、第4期きずな計画策定の中心を担う役割としてPTでの協議結果を踏まえた協議を行う。



回数	日時	内容
1	2021年 4月28日(水) 13:30~14:40	・第4期きずな計画策定方法協議
2	2021年10月11日(月) 10:00~12:00	・計画策定記念講演会視聴
3	2022年 1月28日(金) (書面開催)	・第4期全市きずな計画協議
4	2022年 3月15日(火) 13:30~15:00	・答申書(案)協議

アンケート調査の実施

No.	対 象	①福祉活動実践者	②福祉事業所
1	目 的	活動者や活動者の関わる地域のニーズやコロナ禍での活動実態等を把握するとともに、福祉活動の魅力ややりがいなどを見つめ直す機会とする。	関わる世帯の抱える課題や地域住民との連携の取り組み、制度への要望などを把握するとともに、地域住民へのメッセージなど紙面上での心の交流を図る機会とする。
2	内 容	取り組みの5年前との進捗度、気になる世帯の種別、地域住民が主体的に取り組む活動として大切と感じるもの、ともに支え合う地域をつくるために必要な取り組みと心掛けなど	解決の難しい課題のある世帯の種別、課題解決に必要な取り組み、地域住民とともにできる取り組み、今後必要となる取り組みなど
3	回答数	604 / 1,060 (回答率57.0%)	81 / 89 (回答率91.0%)

実践者アンケートピックアップ

【質問8. あなたの地域で行われている次の取り組みについて、5年前と比べてあなたはどのように感じますか。】
「災害時の安否確認体制づくり」が十分整備されたもしくは整備されたと回答した方(N=176)が、小地域活動の整備についてどう感じているかを抽出。

No.	項目		十分整備された	整備された	整備されたが不十分である	どちらでもない	整備されていない
1	町内会での定期的な見守り活動	全体	5.2%	36.3%	16.7%	34.2%	8.5%
		(A)	7.8%	47.2%	15.2%	26.4%	3.9%
2	組織化された見守り活動	全体	6.3%	30.0%	16.0%	38.7%	9.0%
		(A)	9.9%	52.5%	11.4%	25.2%	4.5%
3	高齢者が日中集う場	全体	7.2%	16.0%	13.8%	34.8%	13.5%
		(A)	8.1%	44.1%	13.7%	28.9%	8.1%

全体と比較し、すべての項目において高い割合を示している。このことから双方には相関性があり、災害時の安否確認体制づくりには小地域活動が欠かすことはできず、今後も継続して推進強化を行う必要があることが分かる。

実践者アンケートピックアップ

【質問16. コロナ禍が終息した後も、このまちの福祉活動を停滞させないために必要と思う取り組みを教えてください。】
「福祉活動に関する相談体制の充実」が必要と回答した方(N=340)の傾向を抽出。

質問15. コロナ禍における福祉活動において、
現在も難しさを感じていることを教えてください、
(上位3位まで)

No.	項目	Nに対する割合
1	活動中止の判断	60.6%
2	地域のつながりの維持	48.8%
3	活動場所の確保	34.1%

質問13. 住民がともに支え合う地域をつくるためにはどのような
取組が必要とと思いますか、(上位3位まで)

No.	項目	Nに対する割合
1	地域の人々が知り合う機会を増やすこと	72.9%
2	誰もが気軽に集える 地域の福祉活動拠点があること	59.1%
3	町内会活動への参加を勧めること	52.9%

アフターコロナにおいて、地域が最も必要と感じる相談体制の充実を図るためのキーワードが「つながり」「場所」であることが上記から分かる。

よって今後、地域内での多様なつながりを生み、相談体制が設置できる地域の拠点が必要である。

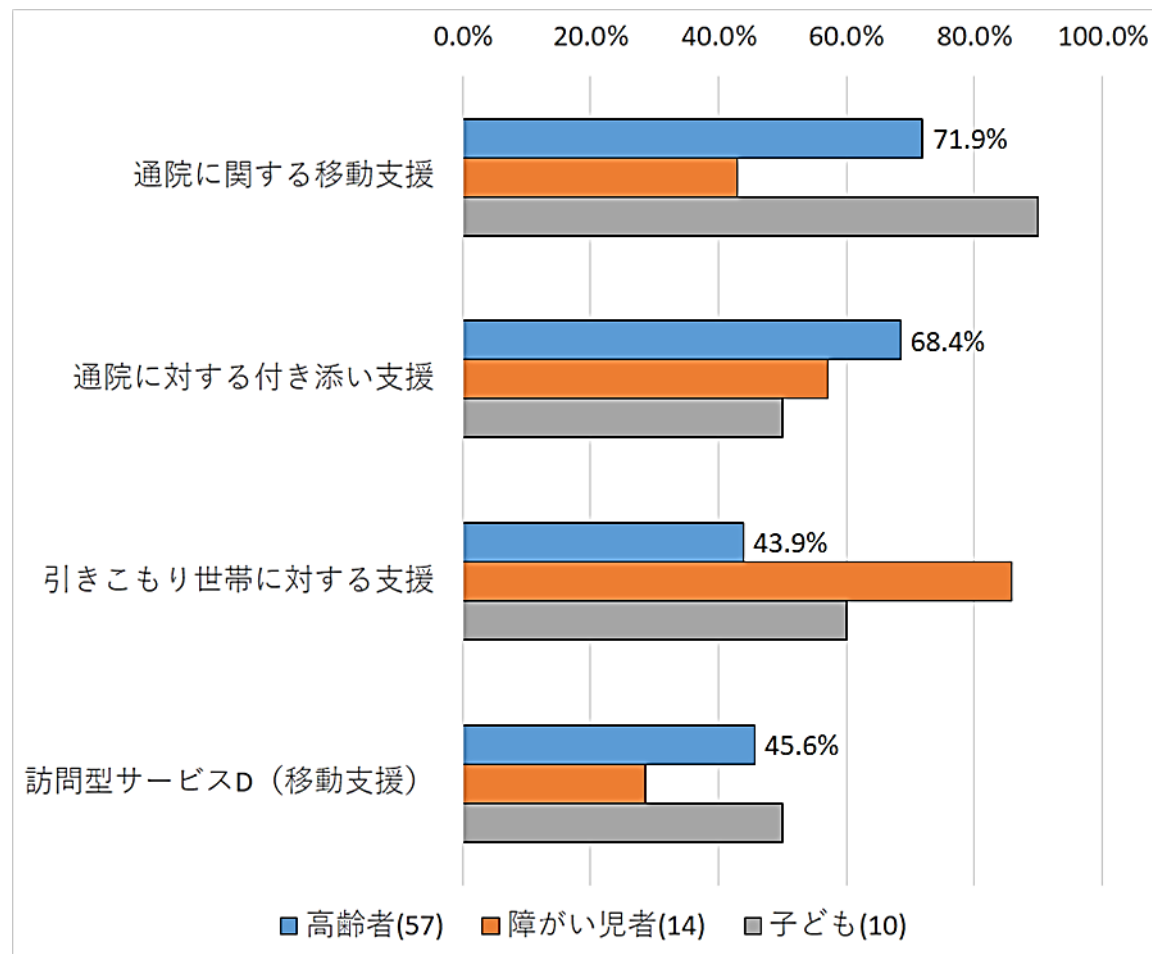
事業所アンケートピックアップ

【質問7. このまちにこれから必要と思う取り組みを教えてください。】

No.	上位4項目	回答率
1	通院に関する移動支援	69.1%
2	通院に対する付き添い支援	64.2%
3	引きこもり世帯に対する支援	53.1%
4	訪問型サービスD(移動支援)	43.2%

上位のキーワードとして、「通院」「移動」「複合的な課題」が挙げられる。

今後必要となることは間違いないが、これらの項目を解決するために必要な取組について事業所は、他機関との連携も大いに必要であるとの傾向である。



計画策定記念講演会の実施(収録:2021年7月9日)

市民3名の実践発表及び原田正樹教授(日本福祉大学)の講演を収録し、後日校区きずな推進委員会を中心に視聴を進めた。

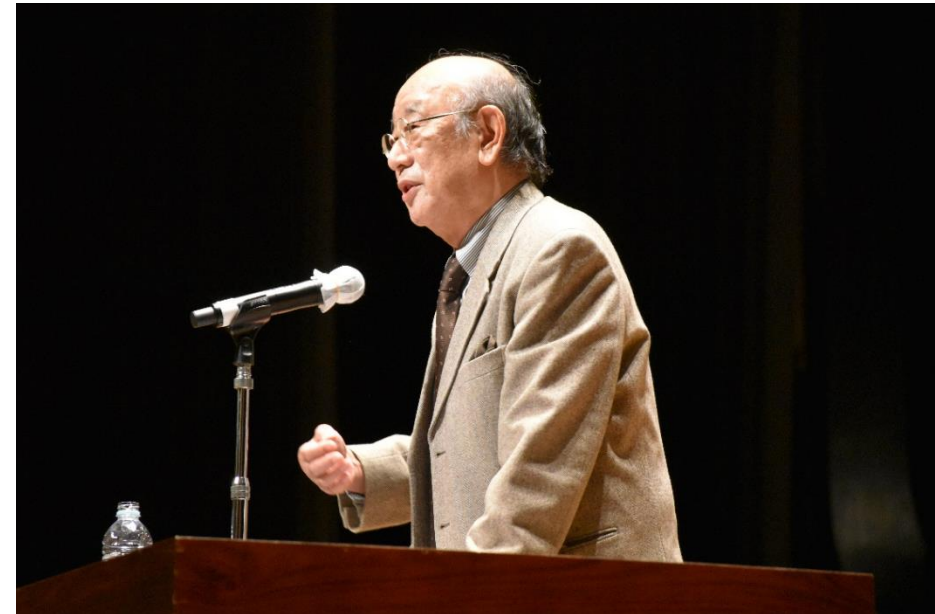
市民向けのほか、行政職員及び市議会議員向けの講演も同日収録し、研修に位置づけ。



延べ84名視聴(YouTube視聴除く)

計画策定研修の実施(2022年1月19日)

計画策定の進捗状況報告及び鳥居一頼きずな大使の講演を実施。
第1期からの歴史に触れたほか、第4期に向け必要な視点とメッセージを伝える。



87名参加

ボランティア団体等を対象としたヒアリング

市内で活動するボランティア団体、当事者団体、NPO法人、ボランティア部等がある学校を対象に実施。

まん延防止等重点措置期間であったため、ヒアリングシートの配布及び記入への協力により実施した。

【ヒアリング項目】

- ・団体の活動を進めるうえでの課題
- ・地域と連携協働したい取り組み
- ・行政への要望
- ・活動をより良くするために連携・協働したい団体等
- ・社協への要望
- ・第4期きずな計画に期待すること

行政とのヒアリング

オブザーバーとしてきずなへの参画をいただいている市関係グループを対象に、全市きずな計画案をもとにしたヒアリングを実施し、課題や取り組みの共有を進めた。

No.	日時	市関係グループ
1	2021年12月20日(月) 10:00~11:00	障がい福祉グループ
2	2021年12月20日(月) 11:00~12:00	高齢・介護グループ、健康長寿グループ
3	2021年12月21日(火) 15:00~16:00	市民サービスグループ、市民協働グループ
4	2021年12月22日(水) 9:30~10:30	こども家庭グループ、こども育成グループ
5	2021年12月22日(水) 11:00~12:00	総務グループ防災担当

各種取り組みから見えた 第4期きずな計画の背景

■ 全国的な傾向

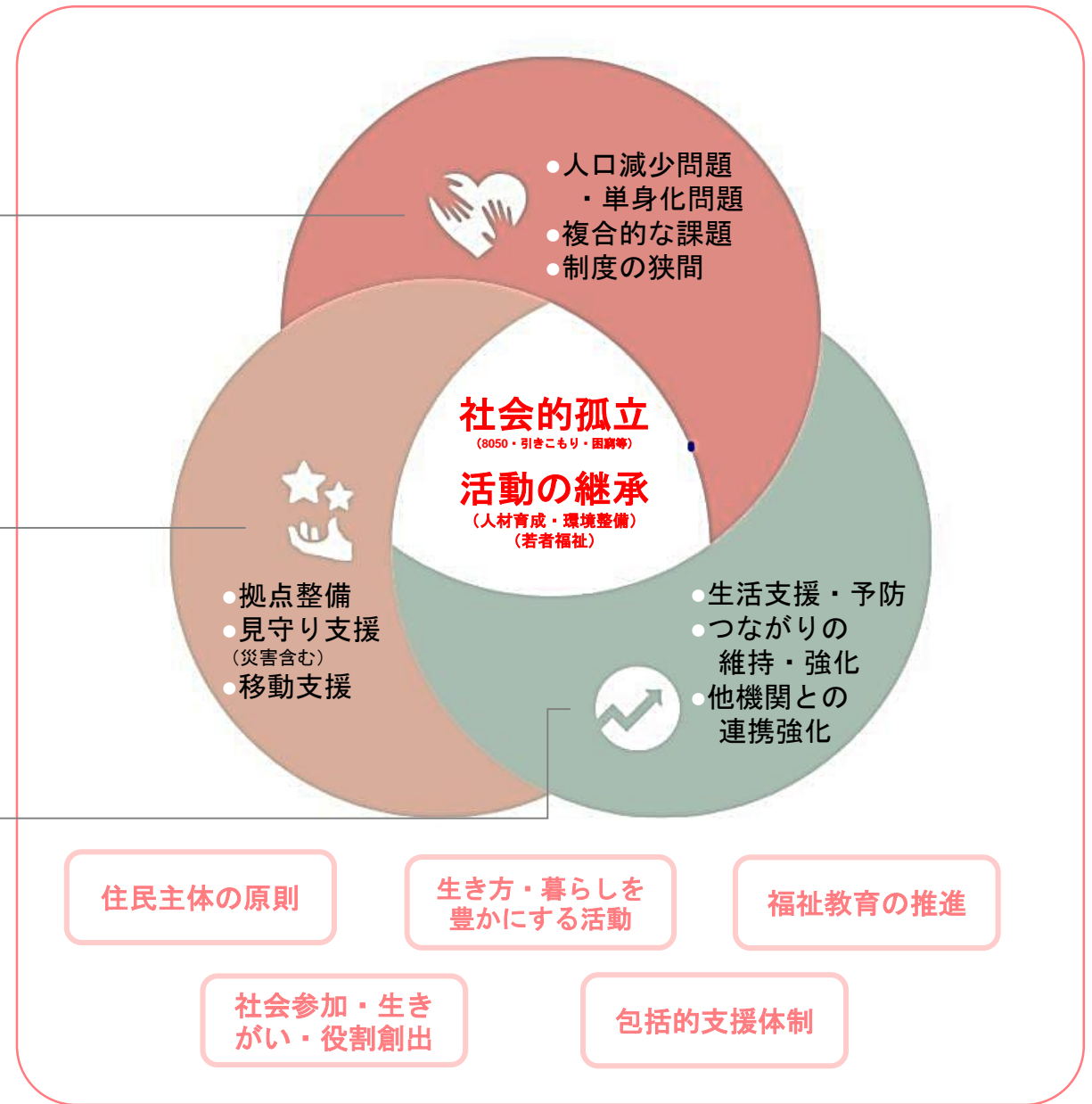
記念講演会の示唆のほか、全国的な課題として表出している課題

■ 実践者・事業所アンケート

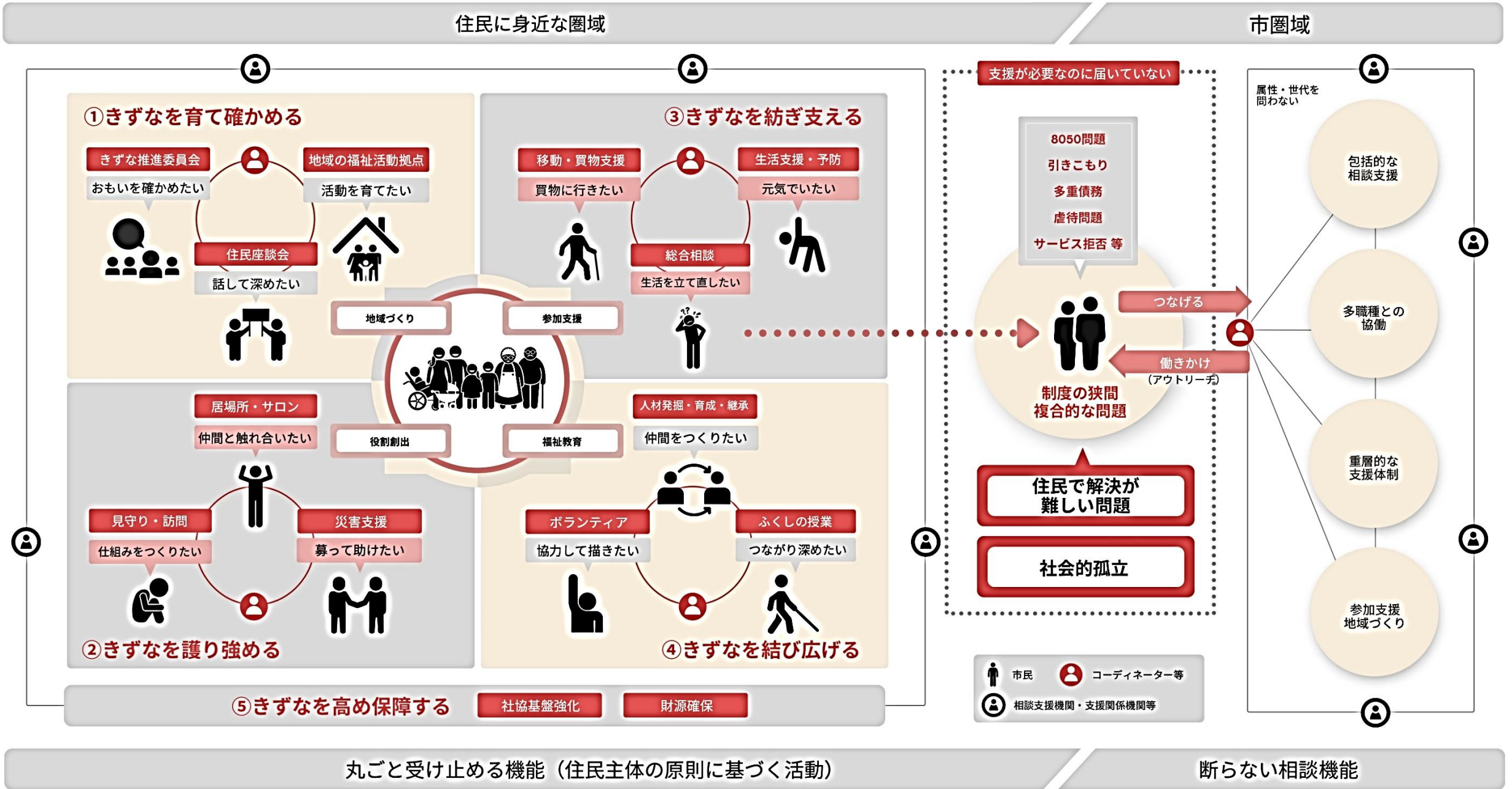
第4期策定アンケートで特筆すべき課題

■ きずな推進委員会・PT

第3期きずな計画評価、PTによる議論、委員会での意見等から出た課題



▶一人ひとりの生き方・暮らしを豊かにするための第4期きずな活動の地域づくり（イメージ）



「ひとりの幸せを希望に紡ぐきずなでまちづくり」

基本目標 1

きずなを育て確かめる

福祉の意識と関心を
高める取り組み

- 高める**
福祉の関心を高める
- 学ぶ**
学習の機会を提供する
- 深める**
福祉の理解を深める
- 育てる**
人づくりを進める

基本目標 2

きずなを護り強める

支え合う地域をつくる
取り組み

- みとめあう**
一人ひとりを大切に
する
- ふれあう**
一人にさせない
- 仲良くする**
交流を促進する
- 創る**
地域の支え合いの仕
組みをつくる

基本目標 3

きずなを紡ぎ支える

困りごとを解決する
取り組み

- 受け止める**
困りごとを発見する
- 伝える**
必要な情報を提供す
る
- つなげる**
適切なサービスに結
び付ける
- 支える**
必要なサービスを提
供する

基本目標 4

きずなを結び深め広げる

地域の協力体制を
つくる取り組み

- つながる**
共に活動する
- 話し合う**
住民同士で協議する
- 調べる**
地域を調査する
- 求める**
住みよいまちづくり
を提言する

基本目標 5

きずなを高め保障する

きずなの推進体制を
確立する取り組み

- ととのえる**
住民主体の組織体制
を確立する
- 募る**
きずな推進の財源を
確保する
- 確かめる**
きずなの推進を管理
する
- 強める**
きずなの推進母体で
ある社協の基盤を強
化する

(2) 第4期きずな計画答申書(案)について

1. 構成について

章立て	頁数	タイトル	記載内容
序章	10～14	登別における福祉を取り巻く現状	人口や高齢化率等、客観的な数値。
	15～18	平成、令和、そしてコロナ禍～第3期きずな計画を振り返る	第3期きずな計画時の社会情勢や地域での取り組み等これまでの経過。
	19～50	地域に暮らすひとりの姿をおもいを考えたアンケート調査	福祉活動実践者及び福祉事業所向けアンケート調査分析
	51～59	ボランティア団体等のおもいを聴くヒアリング	ボランティア団体、当事者団体等を対象としたヒアリング結果
	60～75	鼎談 「きずなの現実に向き合い明日を問う」	道内外の地域福祉活動に関わる一般社団法人WellbeDesign篠原氏と北海道民生委員児童委員連盟の馬川氏からのきずなへの評価と期待
	76～89	民意17年の重みときずな計画への期待	鳥居大使からの市民に向けたメッセージ

(2) 第4期きずな計画答申書(案)について

1. 構成について

章立て	頁数	タイトル	記載内容
第1章	90	きずなの意義と特徴	第4期きずな計画の位置づけ
	91	第4期登別市地域福祉実践計画「きずな」の目標	ひとりの小さな幸せを希望に紡ぐきずなでまちづくり(第3期より変更なし)
	91	きずなの基本理念	第3期より変更なし
	92～94	きずなの5つの基本目標	第1期より変更なし
第2章	95～96	第4期きずな計画の体系図	第3期登別市地域福祉計画との関係をチャート化
	97～110	第4期全市きずな計画書	次項以降参照
	111～126	第4期校区きずな計画書	次項以降参照
第3章	127～136	第4期きずな計画策定の軌跡	地域課題と計画策定に向き合う市民の様子
資料編	137～144	資料編	会議一覧、委員名簿、各種要綱

2. 全市きずな計画書の第3期からの変更事項

【実施項目内容の整理】

第3期では実施事業として具体的な事業名を計画化していたが、柔軟な運用ができるよう整理し、項目数を91から55にした。

（具体的な事業名は「具体的な内容・活動」に記載）

【SDGs】

基本計画ごとに設定。

【地域福祉計画との関連】

実施項目ごとに関連を記載。

【社協発展・強化計画の位置づけ】

基本目標5を社協の事業運営、経営ビジョン、組織、事業、財務等に関する具体的な取り組みを明示する計画として明確に位置づけ。

3. 校区きずな計画の共通項目について

No.	重点項目	実施項目
1	校区活動	<ul style="list-style-type: none">●校区きずな推進委員会の運営●住民座談会の開催●きずなを停滞させない活動の推進
2	日頃からの見守り・訪問・声かけの推進	<ul style="list-style-type: none">●災害時や緊急時を意識した支え合う地域づくりの推進●地域でのつながりの構築及び強化 (小地域ネットワーク活動)
3	居場所・相談・つながりづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">●地域住民がだれでも集える居場所づくり (ふれあい・いきいきサロン等)

4. 校区きずな計画の独自重点項目について

No.	校区	重点項目①	重点項目②
1	登別	登別中学校のお茶の間会議の実施	住民同士の支え合いによる困りごと解決の仕組みの検討・実施
2	幌別東	防災・防犯活動の推進	ゆめみ～るとの連携
3	幌別	地域拠点丸ごと支え合い事業推進に関する連携強化	鍵預かりサービス事業の周知啓発及び連携強化
4	幌別西	日常の実践活動への幅広い地域住民の参画推進	世代や性別、役割などに依らない地域住民がそれぞれにできることの明確化
5	青葉	安心安全パトロール等の取り組みによる多様な地域住民とのつながりの強化	防災避難訓練の実施等による地域内の組織力強化
6	富岸	防災に関する意識改革・意識高揚を促す取り組みの実施	各地域の実情にあった効果的な防災計画書の策定と定期的な訓練の実施
7	若草	対象者を特定しない見守り活動の展開	防災活動の普及啓発、要支援者への避難訓練参加促進と避難ルートの周知等
8	鷺別	ふれあい・子育てサロン、登下校時の見守り活動の実施	住民同士の支え合いによる困りごと解決の仕組みの検討・実施

4. 意見交換

(3) 今後のスケジュールについて

時期	会議名等	会場	内容
3月15日(火)	第4回きずなリーダー会議	登別市民会館 中ホール	第4期きずな計画答申書(案)について
3月22日(火)	社協理事会		計画答申
3月30日(水)	社協評議員会		機関決定
時期未定	きずな市民大集会	登別市民会館 大ホール	